



SASEBO WEEKLY

佐世保ロータリークラブ 会長・橋高 克和 幹事・石井 正剛
 事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
 例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
<http://www.sasebo-rc.jp/> E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 22 年 3 月 24 日

第 2,925 回例会

NO 34

《本日》会員数 76名 (出席免除会員 22名) ・出席 43名 ・免除者出席 12名 ・欠席 11名 ・ビジター 1名 ・出席率 72.40%

《前々回》会員数 76名 (出席免除会員 22名) ・出席 37名 ・メークアップ 17名

修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 橋高 克和君

「ゴミ拾いが熱い!!」との新聞記事の大見出しに惹かれて読みました。若者を中心に街中のゴミを拾う活動が各地で広がっているとの事でした。結論は社会のために何かしたいとの環境美化ボランティアへの参加意識もあるが、歩きながら会話が出来、参加者同士、コミュニケーションをしやすい事が好まれているとの事。



どんな事がされているかと言いますと、大阪の例は、2月の日曜日の午前0時に繁華街に10代~30代の約80人が集まり、「オールナイトゴミ拾い」のイベントでした。朝の5時まで班を組んでゴミを拾い集めたり、カフェで過ごしたりするそうです。こういった例は全国に広がっているようで、「ゴミのポイ捨てカッコ悪い」を合い言葉にNPO法人を設立して多くのチームが出来ているそうです。

また、東京のはとバスでは、群馬県の武尊山のゴミ拾い日帰りツアーを7千円で企画したところ、25人が参加して非常に盛りあがった事が書いてありました。とかく「今頃の若者は」と批判の目で見がちですが、私は改めないといけないと感じております。

このように参加者が多く集まる仕掛けも、ブログやSNS、ツイッターなどの情報伝達ツールが増えて、ボランティアに参加しやすくなっている事も一因なのではないかと思えます。

こういったことを通じて、世の中が良くなる方向に向かうという事になると、とても良い事だと感じました。

わがロータリーでも6月に恒例の空き缶キャンペーンがございまして、若者に負けじと多くのご参加をいただきたいと思います。

細則改正について審議、投票を3月31日に行います。

例会記録

- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 卓話者
佐世保重工業(株) 関連企業管理室
アラン・ロイ・キリノ・ガビリオラ様
- ゲスト
長崎国際大学RAC
会長 松永 夕加さん
会計 宮田 絵里さん
高善永さん
- ビジター
佐世保南RC 直江 弘明君

幹事報告

幹事 石井 正剛君

1. 第2740地区 高城 昭紀 ガバナー事務所

ロータリーレートのお知らせ

4月から1ドル=90円 (現行 90円)

2. 第5グループガバナー補佐 西尾 弘毅君

「世界に翔く佐世保人」発刊のお祝い

3. 佐世保東ロータリークラブ

会長 前田 和隆 君

佐世保東ローターアクトクラブ

会長 西山 尚吾 君

リーダーシップフォーラム実行委員長

中村 愛さん

リーダーシップフォーラムのご案内

日時／平成22年4月18日(日)

受付開始 9:30 点鐘 10:00

場所／佐世保市労働福祉センター

(稲荷町2-28 TEL 0956-32-8929)

登録料／1,500円

4. 佐世保市教育委員会

教育長 永元 太郎 様

「世界に翔く佐世保人」寄贈のお礼状

5. (財)佐世保地域文化事業団

理事長 深堀 寛治 様

アルカスSASEBO情報誌「コンパス春号」

送付のお知らせ

その他の報告

ローターアクトクラブ 委員長 三浦桂一郎 君 長崎国際大学ローターアクトクラブ

○3月6日 長崎国際大学にて交代式を行いました。ロータリアンの皆様、本当にありがとうございました。



○新メンバーの紹介

○次回の例会のご案内

4月7日 メンバー増強、60周年事業に向けて

4月21日 飯田様をお迎えしての卓話

慶 祝

親睦活動委員会 武田喜一郎 君

○結婚記念月のお祝い

山下 尚登・智子 様ご夫妻 (5日)

藤井 隆・真紀子 様ご夫妻 (6日)

安福鴻之助・佐和子 様ご夫妻 (9日)

武井 洋一・幸子 様ご夫妻 (17日)

長島 正・圭子 様ご夫妻 (18日)

(2)

原口 増穂・紀代子 様ご夫妻 (20日)

中川内眞三・恵子 様ご夫妻 (23日)

梅村 良輔・涼子 様ご夫妻 (25日)

菅沼宏比古・美砂子 様ご夫妻 (25日)

芹野 隆英・洋司枝 様ご夫妻 (26日)

加納洋二郎・眞理 様ご夫妻 (30日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 米倉洋一郎 君

直江 弘明 君 (佐世保南RC)

加納洋二郎 君、佐保 榮 君

明治大学マンドリンクラブご協力のお礼

3月19日金曜日、明治大学マンドリンクラブ第38回定期演奏会におきましては、皆様のご支援により、お陰様で2階まで満席、1,500名を超えるお客様に喜んでいただきました。そこで、感謝の気持ちと致しまして、次回演奏会においては、特別に佐世保RC様用予約席をご用意いたします。登録料2,000円、全員登録を心からお待ちしています。本当にありがとうございました。

石井 正剛 君

速いです。通勤時間が約半分です。一番恩恵を受けている様なので、ニコニコします。

東 陽三郎 君

誕生祝いありがとうございました。

藤井 隆 君、安福鴻之助 君

原口 増穂 君、中川内眞三 君

梅村 良輔 君、菅沼宏比古 君

芹野 隆英 君、加納洋二郎 君

結婚記念日のお祝いありがとうございました。

武井 洋一 君

春とはいえ、風雨さだまらぬ天候がつづきます。

会員の皆様、ご清祥の事と存じます。

足の手術をした後、腰痛も加わり、欠席を続けて申し訳ありません。80歳ともなりますと、体のあちこちの締めりが弛んでくる様な気がします。

しかし、松尾弘司さんや円田三郎さん等、諸先輩が頑張っておられる姿を見ると、私ももっと気持ちを引き締めなければと自戒しています。特に大正生まれで、ゴルフで生涯の敵(カタキ)である佐々木秀也会員が、ハンディ万年29にも拘わらず、又奥様に毎度叱責されながらも、例会出席を続けておられる姿を見て“私は大人物を見損なっていた”と最近反省しています。

そういう自戒の意味も加えてニコニコボックスに献金させていただきます。

結婚記念日のお祝いを頂いて有り難うございました。妻も大変喜んでいます。



ニコニコボックス	本日合計	24,000円
	累計	728,000円

卓 話

『フィリピン人研修について』

佐世保重工業(株) 関連企業管理室

アラン・ロイ・キリノ・ガビリオラ 様

SSK協力事業協同組合のフィリピン研修生はいつも寒い時に来ます。初めて研修生に出会った時のことを今でもよく覚えています。緑色の半袖シャツを着た研修生



が、最初に覚えた言葉は「こんにちは」ではなく「寒い、寒い」でした。今日は、「日本は寒い、寒い」という言葉を最初に覚えたフィリピン人研修生についてお話しします。

研修制度は、1960年頃に日本企業が取引関係のある企業の社員を日本に招聘し、技術や知識を修得させたことから始まりました。しかし、少子高齢化の進展などにより、日本国政府は、1990年に研修制度を改正し、開発途上国との国際協力を目的とした中小企業などへの外国人研修生の受け入れが可能となりました。

SSK協力事業協同組合は、技術移転と国際親善に取り組むため、2007年にフィリピン人研修生の受け入れを始め、現在は9社が65人を受け入れています。研修生は、フィリピンのさまざまな州から来ました。北部53名、中部7名、南部5名です。平均年齢は27歳で、ほとんどは結婚しています。職歴に関して、溶接の経験は1~2年で、平均給与は月に1万ペソ、円にしたら2万円です。

研修生の受け入れは簡単に説明すると、入国前には選抜試験と2ヵ月間の日本語教育があって、入国後には3ヵ月間の集合研修があります。集合研修が終わったら、帰国する迄、研修生は現場実習を行います。

選抜試験のため、組合はマニラにて、溶接実技テストと面接試験を行いました。面接では、各自のアピールポイント、労働観、家族などについて尋ねました。ほとんどが、家族のために頑張りたいとのことでした。昨年の面接で、一人の応募者にどうしてピカピカの靴を履いているのか尋ねたところ、彼は、「この靴は、面接の時に目立つために母が買ってくれた」と答えました。私は、その答えに感動しましたが、残念ながらその応募者は選ばれなかったです。

入国してから、研修生が早めに日本の生活に慣れるために、最初の1ヵ月は集合座学を実施します。日本語の他に日本の交通ルール及び安全知識を勉強します。そして2ヵ月にわたりSSK技能センターで、グラインダー、溶接、ガス切断など、さまざまな技術を身に付けさせます。集合教育は日本語と技能教育を合わせると3ヵ月間となります。3ヵ月後、集合教育が終わったら、それぞれの受け入れ会社において技術や知識などを発揮させます。

選ばれた応募者は、ビザの申請をしながら、2ヵ月間マニラで日本語と日本の文化を学びます。もちろんこの時点で、仕事を辞めなければなりませんので、入国までは借金で生活することになります。ビザを受け取ったら、10万円の保証金が必要となるので、また親戚かサラ金にお金を借ります。日本へ来るまでに平均して研修生1人につき15万円を借りています。日本では15万円は一月分の給与、一晚の3次会までの飲み代ですが、フィリピンでは1年分の給与にあたります。お金をたくさん借りているので、研修生は来た時に不満が多いです。

職場の文化が違うため、研修生は現場に行くと職場の文化にも不満があります。日本では挨拶として頭を下げます。フィリピンでは頭は両親と神様だけに下げます。また、フィリピン人は、人の魂は頭にいと信じているため、頭を叩くのを嫌がります。この習慣を冗談だと説明してもやはり気になっています。

日本人の指導員も研修生の日本語に困っています。研修生に指示が伝わったかどうか気になっていると思います。日本人の指導員も「理解したい、理解させたい」という気持ちを持っているということです。研修生と指導員はお互いに「理解したい、理解させたい」からコミュニケーションが生まれます。

フィリピン人研修生に関して、日本人も、気になる習慣があります。フィリピン人研修生の時間にルーズなところが気になっています。最初の集合研修の時に何人かが遅刻することがあります。研修生が時間を守れるようにするのも研修の目的の1つです。

研修生の寮の生活に関しては、管理している日本人側が困っているのがゴミの分別です。ゴミの分別は、フィリピンではまだ習慣になっていないのです。慣れるまではゴミを混ぜている時があります。このゴミの分別の習慣も研修で修得させます。

ストレス、又は精神的な病気を避けるため、SSKは1億円の費用で住みやすい寮に改造しました。研修生の寮には冷暖房はもちろん、テレビとインターネットがあります。寮の横にバ

スケルトコートもあります。立派な寮です。

SSK協力事業協同組合が研修生の受け入れを始めてから、もうすぐ3年が経ちます。評価するのが早いかもしれませんが、重大なケガ・事故がないことは、十分な管理がなされているからだと考えられます。

今、NHK大河ドラマの「龍馬伝」が人気です。坂本龍馬は外国の良い点を取り入れて、日本は新しい時代に動き出しました。もし、研修生が龍馬と同じようにフィリピンを変えるなら、研修の制度は成功したと考えられます。龍馬は日本の歴史を変えました。研修生はSSKで修得した技術や知識をフィリピンで活かせるなら、国の発展が動き始めます。SSKで学んだ、時間を守ることとゴミの分別をフィリピンでも習慣にしたらきっと国の役に立ちます。

最後になりますが、SSK協力事業協同組合の研修生はいつも冬に日本に来ています。初めて覚えた「日本は寒い、寒い」という言葉は、きっと印象的で忘れられないと思います。しかし、指導員と日本人の仲間の笑顔と優しさを思い出したら、「日本は寒い、寒い」と思いながら、きっと「日本人は温かい」「佐世保の人は温かい」「SSKの業者さんは温かい」と思うでしょう。3年間の研修・実習を終わる時、日本人、佐世保の人、SSKの業者さんの温かさをお土産に彼らが帰国するよう、我々SSKと私は研修生を応援します。

紙面の都合上、一部割愛しております。

次回例会予告

会員卓話 松本 由昭君
(株)十八銀行佐世保支店 支店長

(今週の担当 平尾 幸一)

クラブ会報委員会

委員長 芹野 隆英 委員 池田 誠・小川 芳寛
副委員長 平尾 幸一 納所 佳民